

長野県食育推進計画（第2次）の概要について

第1章 計画の基本的事項	第3章 基本理念										
1 計画策定の趣旨	信州の食で育む人づくり～健康長寿と豊かな人間形成～ 周知から実践へ										
<p>○ 経済の変化、県民の価値観の多様化、核家族化等を背景に、個人の好みに合わせた生活スタイルへと、食においても多様化がさらに進んでいる状況がある。</p> <p>○ 第1次計画（平成20年度～平成24年度）を展開してきた結果、改善がみられない事項がある。</p> <p>○ 食育の重要性をさらに普及し、実践する県民を増やすため、関係機関・団体、関係者、県の役割を明確に、支援体制の強化と計画的な推進のため策定する。</p> <p>*食育とは：知育、徳育、体育の基礎となるべきもので、「食」の知識、選択する力を習得し、健全な食生活を実践する人を育てること</p>	第2章 現状と課題	第4章 目指すべき姿と目標	第4章 重点的な取組								
2 計画の位置づけ	信州の食を育む環境づくり <ul style="list-style-type: none"> ・食育に関心のある県民の割合が男性4割、女性6割と低い ・食育ボランティアの人数は、目標（1万人）を達成したが活動の支援が必要 ・食育推進計画の未策定市町村が約4割ある ・全ての保育園、幼稚園、小・中学校において計画的に食育を進められている 	<ul style="list-style-type: none"> ○全県民が食育に関心を持ちます <ul style="list-style-type: none"> ・食育に関心がある県民の割合 51.5% → 65%以上 ・食育ボランティア数の増加 17,338人 → 20,000人 ・市町村食育推進計画策定割合の増加 49市町村 63.6% → 77市町村 100% 	<ul style="list-style-type: none"> 【全県民が「食育」に取り組みます】 <ul style="list-style-type: none"> ● 信州の食を育む県民会議、地域連絡会議を開催、県民運動としての食育の推進について検討 ● 県民大会、地域フォーラムを開催。全県で取り組む体制を整備 【食育ボランティアの活動を支援します】 <ul style="list-style-type: none"> ● 食育ボランティア（食生活改善推進員、農村生活マスター等）の養成・育成研修会を実施 ● 食育ボランティアの活動を把握し、その情報を保育所、幼稚園、学校、市町村等へ提供、活用を図る。 								
3 計画の期間	未来を担う子どもの食育 <ul style="list-style-type: none"> ・朝食を欠食することがある児童・生徒の割合は約1割 ・バランスの良い朝食を食べている児童・生徒の割合は半分以下 ・朝食をひとり又は子どもだけで食べている児童生徒は約3割 ・小・中学校・特別支援学校の栄養教諭の配置拡充が必要（63名） 	<ul style="list-style-type: none"> ○基本的な生活習慣を形成する <ul style="list-style-type: none"> ・毎日朝食を食べる児童生徒の割合 小6 91.2%→93% 中3 85.1%→87% ○共食を通して食の楽しさを実感する <ul style="list-style-type: none"> ・ひとり又は子どもだけで朝食を食べている（孤食）児童・生徒の割合 小5 24.8%→22% 中2 40.3%→37% ・共食が楽しいという児童・生徒の割合 H25調査→増加 	<ul style="list-style-type: none"> 【「朝ごはんを食べよう、いっしょに食べよう食育キャンペーン」を全学校で実施します】 <ul style="list-style-type: none"> ● 子どもが朝食作りのスキルが身につけられるよう、家庭科等教科や特別活動等で朝食をテーマとした食に関する指導に取り組む。 ● 家庭向けに簡単朝食献立の紹介、子どもが作る朝食料理コンクール、子どもの朝食料理教室等を実施 【栄養教諭の配置を拡充します】63名→120名以上 <ul style="list-style-type: none"> ● 学校における食育の中核を担う栄養教諭を計画的に増員し、家庭へは給食日より等で毎月情報発信し、地域のイベント等と連携し、食育を推進。 								
4 計画の推進、進捗管理・評価、公表	健康づくりと食育 <ul style="list-style-type: none"> ・高血圧の割合が男性約7割、女性約5割と高い ・男性の3割が肥満、女性のやせは2割 ・低栄養の高齢者（BMI20以下）の割合は約1割 ・食塩摂取量が男性12.4g女性10.6gと多く、全国と比較しても多い ・野菜摂取量が371gから320gに減少 ・健康づくりに取組む飲食店等が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ○主食・主菜・副菜のそろったバランスのよい食生活の実践 <ul style="list-style-type: none"> ・食塩摂取量（成人）の減少 11.5g/日 → 9g/日 ・野菜摂取量（成人）の増加 320g/日 → 350g/日 ○県民の食生活を支援する環境整備 <ul style="list-style-type: none"> ・ヘルシーメニューを提供する飲食店の数 86店 → 700店 	<ul style="list-style-type: none"> 【うす味でバランスの良い食生活を実践します】 「健康長寿ながの県民減塩運動～今より1g塩を減らそう運動～」 <ul style="list-style-type: none"> ● 調理師会、食品衛生協会の協力を得て、栄養成分表示に取り組む店舗を増加 ● 栄養成分を表示し、「減塩」や「野菜たっぷり」等ヘルシーメニューを提供する飲食店を健康づくり協力店として登録 ● 弁当販売業者やコンビニエンスストア等と連携し、減塩ヘルシー弁当を開発、販売 ● 県民が食品や料理の上手な選択ができるよう「食品、料理の食塩・野菜量早見表」を作成、県民が活用 								
5 長野県食育推進計画（第2次）策定経過 <p>(1) 長野県食育推進計画(第2次)策定評価委員会</p> <table border="1" data-bbox="178 1638 949 1837"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>主な会議内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H24.7.30</td> <td>一次計画の評価について、食育推進の課題</td> </tr> <tr> <td>H24.11.21</td> <td>「長野県食育推進計画(第2次)」(素案)について</td> </tr> <tr> <td>H25.2.19</td> <td>「長野県食育推進計画(第2次)」(計画案)について</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) パブリックコメントの実施（H24.12.25～H25.1.25）</p> <p>(3) 部局長会議（H25.3.26） 「長野県食育推進計画（第2次）」を決定</p>	開催日	主な会議内容	H24.7.30	一次計画の評価について、食育推進の課題	H24.11.21	「長野県食育推進計画(第2次)」(素案)について	H25.2.19	「長野県食育推進計画(第2次)」(計画案)について	信州の食の理解と継承 <ul style="list-style-type: none"> ・消費者と生産者お互いを意識する機会が減少 ・食に関する関心と理解、食への感謝の心が希薄化 ・飲食店等での食べ残しや家庭での生ごみ発生抑制の意識向上に向けた取組が必要 ・郷土料理や伝統食が作ることができない20代女性約6割、男性は全年代7割と多く、食文化の継承が希薄化。 	<ul style="list-style-type: none"> ○信州農産物の地産地消と食の理解を深める <ul style="list-style-type: none"> ・県産農産物利用率 学校給食 42.3% → 45.0% ・地域の方を農業体験の講師として活用している小学校の割合 (米作り) 81.6% → 現状以上 ○食に関する感謝の心、伝統ある食文化等を継承する <ul style="list-style-type: none"> ・食べ物を残すことをもったいないと思う子どもの割合 小5 81.9%→85% ・作ることができる郷土食や伝統食が1種類以上ある県民の割合 50.0% → 70.0% 	<ul style="list-style-type: none"> 【信州ならではの食文化・歴史を学び、ふるさとへの「愛着」と「誇り」を育てます】 <ul style="list-style-type: none"> ● 学校給食（保育所給食）で地産地消を推進 ● 農業県としての特徴を生かした学校教育活動とJAや地区自治会、NPO等と連携し、農業体験を機会拡大 ● 給食での郷土食の提供や給食日よりでのレシピ紹介等により、子どもたちが地域の食や文化、歴史などを理解し、郷土への愛着が持てるよう取り組む。 【「地域」すべてが食の「先生」です】 <ul style="list-style-type: none"> ● 地元の農家の他、食生活改善推進員、農村生活マスターなど郷土の食生活に詳しいボランティアが、保育所・学校等に出向き、農業体験や地域の農産物や郷土食、信州の伝統的な食文化についての講師を行う。
開催日	主な会議内容										
H24.7.30	一次計画の評価について、食育推進の課題										
H24.11.21	「長野県食育推進計画(第2次)」(素案)について										
H25.2.19	「長野県食育推進計画(第2次)」(計画案)について										